

第6学年松組 理科「植物のからだのはたらき」略案

指導者 赤塚 智哉

1. 日時 平成17年7月15日(金) 3校時(10:30~11:15)
2. ねらい 葉にできたでんぶんのゆくえと役割についてまとめることができる。
3. 本時の実際

時 間	学習活動と児童の動き	教師の支援及び評価	センターの先生の支援	備 考
10:30	1. 実験の結果を確認する。	各グループの結果を一覧できるように提示し、日光が当たることで葉にでんぶんができることを確認する。		実験結果をまとめた表
10:35	2. 学習課題をつかむ。 葉にできたでんぶんはどこにいき、どのように使われたのだろう。			
10:37	3. グループで考えを出し合う。	考えをもてない子どもがいると思われるので、グループで考えを出し合い、聞き合うようにする。 植物の図を使って説明できるようにする。 考えが出ないグループには、今まで学習してきた植物の成長を思い起こすよう働きかける。	アドバイスを求めに来た児童に対し、具体的な支援を行う。 ・でんぶんのゆくえ(葉・茎・根・イモへ) ・役割(葉・茎・根の成長、イモへの貯蔵) 早くまとめられたグループには、でんぶんの移動のしかた(水に溶けて移動)も考えるよう働きかける。	植物のイラスト図
10:55	4. 全体でまとめる	グループごとに発表・比較してまとめにつなげていく。 でんぶんのゆくえと役割についてまとめることができたか。		
11:05	5. センターの先生の話聞く。		「顕微鏡で見たでんぶんの写真」「でんぶんのゆくえや役割に関する模式図」など、視聴覚教材を活用して説明する。	